



TOHOKU  
UNIVERSITY

URA / 知の創出センター 連携企画

「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」

# Quattro Seminars

— 初回記念講演会 —

社会科学の学際的方法論：  
コンピュータ・シミュレーションによる  
一般的信頼生成プロセスの解明を通じて

講師：

文学研究科 教授

佐藤 嘉倫

日時：

2014.

10/2 (木)

16:30 ~ 18:00

会場：

東北大学川内南キャンパス  
文科系総合研究棟2階206室

※懇親会@文系喫茶ルポー (18:00~20:00)

会費：2,000円

講演会・懇親会の参加申込：クワトロセミナー事務局  
[quattro\\_admin@ml.tohoku.ac.jp](mailto:quattro_admin@ml.tohoku.ac.jp)

\*当日会場での申込も可能です。

詳細情報URL：

[http://www.tfc.tohoku.ac.jp/  
quattroseminar/](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/quattroseminar/)

URA/知の創出センター連携企画「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」(通称: Quattro Seminars(クワトロセミナー))は、東北大学での人文・社会科学の研究力強化を目指して、全学的な視点から領域横断的な研究交流を行うセミナーです。



TOHOKU FORUM  
for CREATIVITY

URA / 知の創出センター 連携企画

「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」(通称:Quattro Seminars)

初回記念講演会

日時 |

2014年10月2日(木)16:30 -18:00

場所 |

東北大学川内南キャンパス 文科系総合研究棟2階206室

講演タイトル |

社会科学の学際的方法論：コンピュータ・シミュレーションによる一般的信頼生成プロセスの解明を通じて

見知らぬ他者一般に対する信頼は、社会的な相互作用が円滑に行われるためには不可欠であり、社会学、心理学、政治学、健康科学など複数の分野を横断して近年、活発に研究が行われている。本講演では、コンピュータ・シミュレーションを用いて一般的信頼が生成するプロセスを解明する。コンピュータの中に人工社会を構築し、人間を模した多数の「エージェント」に囚人のジレンマゲーム等の相互作用を行わせることによって、所与の社会的条件、および人びとの相互作用のあり方が、社会における人びとの一般的信頼の高さにどのように影響するのかを明らかにする。さらに、この研究を具体例として、コンピュータ・シミュレーションという主として自然科学分野で使用されてきた方法論の摂取が、社会科学の理論研究にブレイクスルーをもたらす可能性について議論する。

講師 |

佐藤 嘉倫 (文学研究科 教授)

東京大学文学部社会学専修課程卒業後、同大学社会学研究科博士課程単位取得退学。横浜市立大学商学部助教授、シカゴ大学社会学部・コーネル大学社会学部客員研究員を経て現職。21世紀COEプログラム「社会階層と不平等研究教育拠点」代表者、グローバルCOEプログラム「社会階層と不平等教育研究拠点」代表者、「2005年社会階層と不平等全国調査(SSM調査)」プロジェクト代表者を歴任。専攻は社会階層論、合理的選択理論、信頼研究、社会変動論。著書にJapan's New Inequality、『ゲーム理論』など。

講演会・懇親会への参加申込 | クワトロセミナー事務局

[quattro\\_admin@ml.tohoku.ac.jp](mailto:quattro_admin@ml.tohoku.ac.jp)

\*当日会場での申込も可能です。

詳細情報URL |

<http://www.tfc.tohoku.ac.jp/quattroseminar/>